

[ここに入力]

粕谷和夫の観察日記より。ムラサキシジミ。成虫で越冬する蝶です。雑木林を歩いていると日当たりに良いところで日向ぼっこをしている姿に会います。しばし、こちらも日向ぼっこ。運が良ければそこにジウビタキが現れたりします。

紅葉台



新聞

【第62号

2023年

1月28日

発行人：関谷 孝】

新春シニア散歩(八王子八福神巡り・そのうち4つ)

八王子市の新春は「八福神」。八王子の名前にかけて吉祥天をくわえて8つになっています。お正月にめぐるのは招福の神様を祭る八寺院を参拝し、心願成就を祈願するものです。特に新春の巡拝は、「七難即滅」「七福即生」の功德があると言われていています。全部を歩くと3時間30分程。専用の色紙朱印を持参するとセレオ八王子やイーアス高尾でオリジナル商品がもらえます。それもあって結構たくさんの方が参拝に来ていました。

シニアクラブでは、1月4日。晴天で穏やかな日に出かけました。毎年シニアクラブでは、お正月は、八王子八福神めぐりと決まっています。しかし、昨年より全部を回るのは疲れる。脚がもたない。との声が増えたため、半分を2年がかりで回ることになりました。今年は西八王子駅から南側を中心に回りました。



最初に行ったのは信松院。布袋尊で家族円満です。布袋尊は唯一実在する人物だそうです。松の雪吊りが立派に飾られていました。地下には布袋尊の大きなお

なかを触るといいことがあるとの言い伝えがあって皆さん撫でていました。奥の墓地には、「松姫様のお墓」があります。八王子では松姫にまつわる逸話が有名です。武田信玄の娘だった松姫は織田信長の息子と結婚の約束をしていましたが、武田との仲が悪くなり松姫はこの八王子に身を隠し出家し、この信松院を開基しました。56歳でなくなったそうです。お墓には大きな松の木が横に這えているのが象徴的でした。墓石も時の流れを感じます。隣接の金照庵では、布袋カレーが1200円でした。



次は、金剛院。福寿無量です。中国仙界の神尊で招福と立身出世をつかさどります。境内に立派な鉢がたくさん置いてあり、蓮の花が咲くようです。



その後は、伝法院の恵比寿天。唯一日本出身の神です。大魚を約束する漁師の神です。商売繁盛、開運勝利です。途中すぐ近くに道祖神があり、人目を引きました。顔が現代風で、だれがなぜここに作ったのか疑問です。かわいいので写真を見てください。また、伝法院の周りの壁は屋号を掘った石が積まれていました。今でも同じ名前のお店がありました。多分お寺に寄進した人の名前ではないかと想像しました。町をめぐるといろんなものを見付けます。それも町巡りの楽しみです。



最後は、本立寺の毘沙門天。多聞天ともいいます。インド出身の軍人で開運勝利です。ここまでで約1万歩になりました。みんなで歩くとおしゃべりしてあっという間でした。帰りは八王子駅近くの本屋によって話題の本を買いました。来年は、残りの4つを回る予定です。皆さんも良かったら散歩がてらにお出かけになってみたらいかがでしょうか！【文責 関谷】

粕谷和夫の観察日記

イソヒヨドリ(メス)



奥多摩湖のイソヒヨドリ(メス)です。磯をすみかとしていたイソヒヨドリが、最近市街地に進出しまして話題になり、そのことが「NHK ダーウィンが来た」にも取り上げられたことがあります。このイソヒヨドリは山間地のコンクリートダムでも観察されることが知られていました。

先日、奥多摩湖に行ってお目にかかることが出来ました。写真の下に奥多摩湖の字が写っていることが証拠です。

♥奥多摩湖の証拠写真まで取ったとは、刑事顔負けですね。海から川を上りついにダムまでたどり着いたということでしょうか。イソヒヨドリもここまでが限界のような気がしますね。ダムが岸壁に似ているからでしょうか。ついに都会からダムまでというのも生息域が広がった証拠です。メスがいるということはオスもいるのでしょう。【写真を拡大して見てください】

〈会長さんからの返信〉

イソヒヨドリは世界的には標高2000から4000mの岩石地帯に生息する鳥です。英名は、Blue Rock Thrush(青い岩のツグミ)です。日本では、海岸の崖地に生息しているのが普通でした。本来崖(岩)に生息する鳥で都会のビルも山地のダムも岩に見えるのだと思います。オスは青い部分が多いため、「幸せの青い鳥」と呼ばれています。



クイナ

八王子・湯殿川には毎冬クイナが渡ってきます。ツルヨシの株元で見え隠れしています。この写真は、体についた水滴を振るい落としていると

ころです。

♥羽を膨らませているので羽の模様や美しさがひときわ目立っています。警戒心が強いのでなかなか人前に現れてくれません。ですから、こんなにはっきり写真に撮ることが出来たのはラッキーですね。湯殿川は、数年前からクイナが住み着いています。こうやって確認できると安心します。会長さんの執念を感じます。

皆さんからの原稿をお待ちしております。楽しかったこと、好きなこと何でもOKです。